

東海聖書神学塾

塾報

2017 年 12 月

第 6 6 号

460-0022

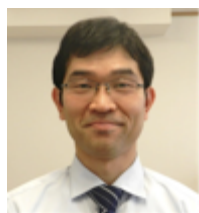
名古屋市中区金山2-1-3

金山クリスチャンセンター3階

☎・FAX 052-321-7516

E-mail tokai.seisyo.singakujuku@gmail.com

<http://tts.jpn.org>



「『自分自身』が入門するつもりで」

日本バプテスト宣教団 知多のぞみキリスト教会 牧師

東海聖書神学塾 教師

東 賢作

今年度から東海聖書神学塾の授業「入門クラス」を担当させていただいている新任教師の東賢作と申します。よろしくお願い致します。伝道牧会4年目で、これまでいろんな失敗を繰り返しているような私が、神学塾の奉仕をさせていただくのは本当に畏れ多いことなのですが「自分も入門するつもりで」現在、お二人の兄弟とテキストを読み合わせながら、みことばとともに学ばせていただいています。テキストは、以前、後藤喜良塾長が作成されたもので、私も2009年(在塾1年目)に学ばせていただいた内容です。事前に読んで準備し、項目に関係するみことばを黙想する中で、まず自分自身の献身姿勢、また主と主の教会に対する愛について深く吟味する尊い機会をいただいています。また、ともに学んでいる兄弟方からも多く教えられ、心から感謝しています。

昨今は「〇〇ファースト」という言葉をよく耳にしますが、最近私が聖書から教えられていることは「牧師にとって伝道牧会は『自分ファースト』である」ということです。これは決して牧師が「自分中心であっていい」という意味ではありません(私はそのような性質を抱える者ではありますが)。これは「まず、牧師自身が主によって牧されていなければ、牧師としての働きをすることは難しい」ということです。パウロは教会の牧会的働きを任せた長老達に対して「あなたがたは『自分自身』と群れ全体とに気を配りなさい。」(使徒の働き20:28)と言って、まず「自分自身」を先に置いて語りました。また、若き牧師テモテに対しても「『自分自身』にも、教える事にも、よく気をつけなさい。」(Iテモテ4:16)と言って、まず「自分自身」に気をつけることを強調しました。それほどに、まず牧師自身が主を知り、主を喜び、みことばによって養われていることが大切であることを学んでいます。ですから、まずは自分自身こそがキリストを知ることができるよう「入門する思い」で歩めるように、どうぞお祈りをよろしくお願い申し上げます。

10月1日(日)夕方から2日(月)にかけて、レイクサイド入鹿を会場に、秋のリトリートが開催されました。理事の檀原久由師から「ポストモダンを意識した神学の学びの重要性」をテーマに2回のメッセージが語られました。中でも、情報の受け手が主導権を持つポストモダンにおいては、受け手に対する丁寧な説明が必要で、信頼関係の構築がますます大切になるとのメッセージが印象に残り、良い学びの時となりました。また、これまで会場としてきたレイクサイド入鹿は来春には閉館されるため、池のほとりに佇む緑豊かで閑静なこの地を惜しみながら、それぞれが帰路につきました。

(教職志願者コース2年・中島正人)



東海宣教会議 TOCOME6



2017年9月11日から13日、第6回東海宣教会議が「今ここで～感謝・発見・挑戦」と題して開催されました。私達神学塾生は会場係として参加すると共に、「東海聖書神学塾」のブースで塾の案内をいたしました。

開会礼拝では羽鳥先生が、ローマ11章33～36節から「大会を通して東海地域の宣教が教会の協力のもとで進むように」との期待を述べられ、閉会礼拝では壇原先生が、Ⅱテモテ2章1、2節から次世代への継承の大切さを語ってくださいました。

また、マイケル・オー先生は3回の主題講演で、「救い」、「聖化」、「世界宣教」について熱くお語りくださり、福音の持っている力を知ることができました。

それぞれの集会で司会された塾卒業の若い牧師を頼もしく感じ、数年先の第7回には現在の塾生が実行委員として活躍していることを期待しつつ、会場を後にいたしました。

(教職志願者コース3年・河野節子)



今回、初参加で会場受付等の奉仕ができ、大きな感謝でした。多くの教職者、神学生、信徒が同じ主にある兄姉として一つ会場に集まり、宣教や教会形成のビジョンを分かち合うなかで、世代、地域、教会を超えた思いを共有できたと感じたからです。特に、若い世代のCBI学生と我々熟年世代のTTS塾生が協力奉仕する姿は、キリストの身体を建て上げる麗しさを垣間見る思いがしました。

マイケル・オー師の主題講演では、ご自身の証を通しての救いの福音、神のみこころとしての聖化、栄化の福音と、福音の全体像が説き明かされ、改めて福音に対して自信を持つことができました。分科会では6テーマに分かれ、私は、ビジネスの場を通し福音を積極的に伝えて行く「ビジネス・アズ・ミッション」に参加し、様々な取組みが紹介され励まされるなか、今の持ち場で主を証していく決意を新たにさせられました。今後、福音宣教の協力の輪が東海地方から草の根的に広がって行くことを、主に期待しています。

(信徒奉仕者コース2年・白川和志)



伝道実習

裏山に十字架が映える芥見教会

芥見教会の皆様のおかげで、みんなで食べた食事会！本当に素敵な時間でした。
55 プラスでも、鵜飼見物でも、夕礼拝前の食事会でも、そして礼拝後の交わりと証しの会、そして毎朝のマレーネ先生宅での食事、楽しくも豊かな時間を共有させていただきました。
芥見教会は工夫された各種集会がそれぞれの担当者のもとで魅力あふれる内容で持たれていました。教会学校以上に多彩な子ども達へのアプローチ、礼拝の様子、その一つひとつが心に残っています。楽しい中での実習で、私自身の今の教会生活、塾での学びに大変良い影響を与えていただきました。

(信徒奉仕者コース1年 須藤幹夫)



「ひまわりの花に彩られた教会の入り口に、プロレスのポスター」
「伝道実習に、商店街ツアー」「商店街あげての、教会の結婚式」これが「名古屋福音伝道教会」、人呼んで「地域と共にいきる、大須の教会」でした。とかくこの世とは隔てを置きがちなキリスト教界ですが、「愛」と「心の柔軟性」をもって積極的に門前町商店街に飛び込み、理解し、福音をしっかりと携えつつ、自らもその一員となって地域のニーズに応えようとされている教会に感動！その上、喜んで生き生きと生きておられる信徒の方々の姿を見せていただき、教会のあり方について考えさせられました！

(信徒奉仕者コース 水野ふみ子)

私は名古屋のパプテスト連盟東山キリスト教会にお世話になりました。
鈴木先生の講義の中で「パプテストの歴史」がとても参考になりました。パプテストは保守からリベラルまでいろんな立場の人がいて幅が広いのだと思いました。また先生のお話の中で「パプテスト魂」を垣間見ました。塾生は礼拝で寸劇をしました。役者ぞろい(笑)で評判も上々でした。塾仲間の意外な一面も見る事が出来ました。路傍伝道では癌患者の方と話し、教会のトラクトを渡す事が出来ました。私はギタリストなのですが、讃美と証しの機会も与えられ感謝でした。

(信徒奉仕者コース2年 兼松 努)



牧師夫人講座

「牧師夫人講座」は、牧師夫人の奉仕のために必要な学びと同じ奉仕をしておられる皆さんの主にある交わりの場です。隔週1度の2年間のコースには長年牧師夫人として奉仕しておられる方々の証しを聞くクラスもあります。今迄に40名程の方が修了しておられます。牧師夫人の皆さん、ぜひ、あなたも「牧師夫人講座」にご参加ください。



入江 悠

豊田神池キリスト教会

今年の4月に愛知県豊田市にある豊田神池キリスト教会に赴任いたしました。東海の地は、私たち夫婦にとって初めてで、戸惑うことも多くある日々の中で、牧師夫人コースでの学びは多くの励みがあり、とても有意義な時を過ごさせて頂いております。信仰的な面から実践的な面まで丁寧に教えて頂けて、これからの学びも楽しみです。



岡本 涼子

岡崎キリスト教会

この2017年4月に同盟福音基督教会岡崎キリスト教会に赴任いたしました。この牧師夫人講座で学びの機会を与えられつつ奉仕ができることをとても感謝しています。経験豊かな先生方からの教えはとても有益で、主との関係、人との関係についての心構えも教えられています。学んだことを、実践の場で大変生かしやすいです。教派を超えた牧師夫人の集まりでの分かち合いは、私にとって心の安らぎの一時でもあります。



辻 陽子

栄光聖書教会

60才を超えた今まで、私は一信徒としてのんきに歩んでいました。でも主人が牧師になり、自分ひとりの信仰だけでは濟まない立場でもあると、少々慌てました。そんな時、「牧師夫人講座」のことを教えられ、入塾を希望しました。先生方の講義、若くてりりしい姉妹方との交わり、分かち合いを通して、新たな学びと、大きな支え、励ましを頂いています。学びを生かし、この立場に置いてくださったことを感謝しつつ歩みたいと願っています。



鄭 善愛

瀬戸サレム教会

韓国から日本に来て6年目になりました。大阪にある教会の協力宣教師として働き、今年2月に瀬戸に来ました。韓国では牧師夫人のための講座がありますが、日本でもこの講座があることは初めて聞きました。牧師夫人講座を通して自分の信仰について点検と、教会の伝道や相談など、教会の牧師夫人として色んなことを学んでいます。また、牧師夫人の交わりを通して慰めと恵みを得ています。これからも、学びながら主の恵みを分かち合いたいです。よろしいお願いします。

*塾報第65号の新入塾生紹介におきまして、「信徒奉仕者コース」の須藤幹夫塾生と山下実塾生の文章が入れ間違っておりました。お詫びしてここに訂正いたします。

行事報告

- 後期授業を前にした 10 月 1 日（日）～2 日（月）、レイクサイド入鹿にてリトリートを持ちました。檀原久由師によって「ポストモダンを意識した神学の学びの重要性」について学び、よき交わりのときを持ちました。
- 10 月 24 日、理事会を開くとともに、塾生を送り出してくださっている教会の牧師と塾の運営委員との懇談会を持ちました。
- 今年度の 9 月 15 日に井野葉由美宣教師、11 月 14 日に近藤健二宣教師をチャペルに迎えることができました。
- 12 月 1 日（金）には教会より一足早く、塾のクリスマス礼拝（説教者：名古屋福音伝道教会 保浦宏規師）を持ちます。
- 年が明けて 1 月 22 日（月）には、遠藤芳子氏を迎えて第 33 回女性公開講座を予定しています。テーマは「弱いときにこそ、私は強い」です。今回の会場は、日本特殊陶業市民会館（金山）の 3 階・会議室です。別紙案内をご覧ください。（塾生主任・河野勇一）

教務報告

- 『私は、「だれを遣わそう。だれが、われわれのために行くだろう。」と言っておられる主の声を聞いたので、言った。「ここに、私がおります。私を遣わしてください。」』（イザヤ書 6 章 8 節）世界人類の救いの神は、世界と日本での福音宣教のために働き人を求めておられます。主の教会の働き人になりたい人は、牧師先生と相談し、神学塾へ来てください。
- 教会員やお知りあいの方等で、教会での奉仕への献身を考えておられる方がありましたら、ぜひ、当塾への入塾をご検討くださいますようお願い致します。資料をお送り致します。
- 将来、牧師や宣教師等としての奉仕を希望する人は、「**教職志願者コース**」へ、信徒として教会に仕えようとする人は、「**信徒奉仕者コース**」（昼と夜コース、昼夜コース）か「**女性奉仕者コース**」へ、牧師・宣教師夫人は、「**牧師夫人講座**」へ、牧師として奉仕している人は、「**アドヴァンスコース**」へ、願書を提出してください。
- 神学塾のホーム・ページから、入塾案内や願書等がダウンロードできます。
- クラスの見学をなさりたい方は、ご遠慮なく（火曜日または金曜日に電話で）お申し出ください。
- 神学塾の講師の先生方を礼拝や修養会等の奉仕にお招きになりたい教会は、直接先生方とご相談ください。奉仕の際に、講師の先生方に神学塾の案内をする機会を提供していただけたら、たいへん感謝です。
- 献本の一助として塾の図書充実のために、ぜひ、献本や図書のための指定献金にご協力ください。
- 「金山クリスチャンセンター」を会議等のためにご利用されたい団体等はお申し込みください。
- 専門科塾生のための「**奨学金基金**」への献金をお願い致します。（教務主任・鴨下直樹）

2018年度 塾生募集

- 東海聖書神学塾のコースは以下の 5 つです。
 - 教職志願者コース「牧師、宣教師等に召された人のため/週 2、3 日の学びで 5 年程」
 - 信徒奉仕者コース「信徒牧会者・信徒伝道者等のため」
 - * 週 2 日、昼または夜だけの学びの場合は 4 年程、昼夜の学びの場合は 2 年程で修了
 - 女性奉仕者コース「教会の女性奉仕者のため/毎週の金曜日の学びで 2 年」
 - 牧師夫人講座「牧師や宣教師夫人だけのため」/隔週の金曜日の学びで 2 年
 - アドヴァンスコース「牧師や神学塾の卒業生のため/毎月一度月曜日の学びで 1 年単位」
 - * 入塾願書をご希望の方は、どうぞ郵便で当塾へご請求ください。【返信用の切手 92 円同封】ホームページからダウンロードしていただくこともできます。
- 当塾は教会から推薦された献身者のみを受け入れる方針を堅持しておりますので、入塾希望者は必ず所属教会の牧師の指導を受けると共に、教会役員会で召命と献身を確認して頂き、教会全体の支援を受けて入塾できるように準備してください。

- 2018 年度の入塾説明会は 2018 年 1 月 5 日（金） 2 時～と 5 時半～
 - 同 入塾願書の締め切りは 2018 年 2 月 16 日（金）必着
 - 同 入塾試験（筆記・面談）は 2018 年 3 月 2 日（金） 1 時～（全員）